

平成30年度 事務事業評価シート(実施計画事業・経常事業)

事務事業名	こまきプレミアム商品券発行助成事業		担当部	地域活性化営業部	担当課	商工振興課	担当係							
実施計画	3	年目												
新基本計画	市政戦略編	○	分野別計画編	5	産業・交流	20	商工業	2	既存商工業の経営を支援します					
予算区分	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工振興費	大	5	中	1
根拠法令・個別計画	地域限定商品券発行事業費補助金交付要綱													
目的	何(誰)を対象に	対象: 中小商業者												
	どのような状態にするか	中小商業者を支援し地域経済を活性化する。												
手段	どのような事業を実施するか	<p>・商工会議所が平成19年度から、市内中小商業者の育成及び活性化によるモチベーションの向上を目的に実施していた地域限定商品券発行事業を、市民生活の支援及び地域経済の活性化を目的として平成23年度より発行額を大幅に増額した。 この商品券事業に対し小牧商工会議所が発行する「こまきプレミアム商品券」の10%のプレミアム分、商品券発行事業に関する事務経費(換金手数料,委託料,商品券印刷費)の補助を行う。</p>												
	事業の概要													
年度別事業内容	28年度	<p>★こまきプレミアム商品券発行助成事業 【実施内容】 ・発行数 10万セット 発行額 11億円(プレミアム率10%) ・参加店 650店(平成29年2月28日現在) ・利用期間 H28.9.9~H29.2.28 【実施結果】 ・総販売額 7億7,876万円(残額 2億2,124万円) ・購入者数 20,344人 内訳:小牧市在住者 18,668人(91.8%) 市外在住者 1,676人(8.2%) 【28年度直接経費の内訳】 ・こまきプレミアム商品券発行事業費補助金 92,124千円 (プレミアム分 77,705千円 事務経費 14,420千円) ・平成27年度繰越明許費分9,259千円(平成27年度事業分) 【28年度県支出金】 ・げんき商店街推進事業補助金 7,000千円</p>												
	29年度	<p>★こまきプレミアム商品券発行助成事業 【実施内容】 ・発行数 10万セット 発行額 11億円(プレミアム率10%) ・参加店 602店(平成30年3月31日現在) ・利用期間 H29.7.14~H30.2.28 【実施結果】 ・総販売額 10億円 ・購入者数 26,404人 内訳:小牧市在住者 21,801人(82.6%) 市外在住者 4,603人(17.4%) 【29年度直接経費の内訳】 ・こまきプレミアム商品券発行事業費補助金 115,800千円 (プレミアム分 99,800千円 事務経費 15,200千円 贈答用800千円) 【29年度県支出金】 ・げんき商店街推進事業補助金 7,000千円</p>												
	30年度	<p>★こまきプレミアム商品券発行助成事業 【実施内容】 ・発行数 10万セット 発行額 11億円(プレミアム率10%) ・参加店 約600店 ・利用期間 H30.9.7~H31.2.28 【販売見込み】 ・総販売額 10億円 【29年度直接経費の内訳】 ・こまきプレミアム商品券発行事業費補助金 116,000千円 (プレミアム分 100,000千円 事務経費 16,000千円) 【30年度県支出金 申請予定】 ・げんき商店街推進事業補助金 7,000千円(申請予定)</p>												

	H28		H29		H30
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
合計	116,000	92,123	116,000	115,800	116,000
財源内訳(千円)					
国支出金					
県支出金		7,000		7,000	
地方債					
その他					
一般財源	116,000	85,123	116,000	108,800	116,000
特定財源の説明					
事業費内訳(千円)					
細々節	H28		H29		H30
	当初予算額	決算額	当初予算額	決算見込額	当初予算額
こまきプレミアム商品券発行事業費	116,000	92,123	116,000	115,800	116,000
従事者数					
正職員(人数)	0.3		0.3		0.3
その他職員(人数)	0.0		0.0		0.0

事業の成果指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30	
①	購入した市民の全市民における割合	%	目標	10.0	12.0	16.0	16.0	16.0
			実績	10.7	16.0	12.2	14	
②	加盟店アンケートにて商品券が売上げに効果があるまたはどちらかという効果があると回答した店舗割合	割合	目標	—	—	—	—	—
			実績	67.9	76.9	64.2	71.3	
事業の活動指標		単位	H26	H27	H28	H29	H30	
①	商品券流通額		目標	1,118,000	1,411,000	1,130,000	1,130,000	1,130,000.0
			実績	1,118,788	1,419,018	889,264	1,126,388	
②			目標					
			実績					
事業の目標達成状況とその要因、実績増減の要因								
業績	H29実施結果	<p>・平成23年度に規模を拡大したこの事業は、事業規模拡大当初、前期・後期の年2回販売を実施するなか、それぞれ1人あたり5万円を購入上限としていたが、購入希望者の増加に伴い公平性の観点からより多くの市民に購入いただくため、平成28年度は発行額は維持し販売期間を年1回としたが、利用期間が短くなり需要を取り込めなかったため流通額が減少し売れ残りが発生した。平成29年度は前年度の改善を図り完売を目指す。平成29年度は商品券流通額を維持するなか、国の特例措置を活用し利用期間を約2ヶ月拡大し、夏の賞与需要を取り込むなどの改善を図り完売した。</p>						
		今後の見通し、要因を踏まえた事業の見直し						
ステップⅡ	H29実施結果	<p>平成30年度は利用期間の拡大が難しく、発行額は維持して、従来の6ヶ月に戻して実施。そのため、完売に向けて予約販売においては市民限定として1人当り5万円に購入上限を引き上げ早期に市民に購入いただき、しっかりと商品券を完売することで、事業の目的である中小事業者の活性化に繋げていく。</p>						

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの
	判定理由	地域の身近な店舗である市内の中小規模店舗は減少しており、市民が暮らしやすい環境を維持していくためにも、「市民生活の支援」と「中小事業者の育成」、「地域の活性化」を目的とするこの事業を一定の規模で継続し、中小規模店舗の活力を高めていくことが必要と考える。	